

2026年7月3日

路線バス事故発生時の対応力向上を目指し

**「多数傷病者を想定した合同訓練」を実施しました**

～大津市消防局との連携による、車両を用いた実践的訓練～

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井 高明）は、大津市消防局と密接な連携を図り、事故発生時の対応について共通認識をもつとともに、多数傷病者の発生に備え、より実践的な車両を使用した合同訓練を、2026年6月23日（火）、大津営業所において実施しました。

本訓練では、県道を走行中の近江鉄道バスが、道路へ飛び出した歩行者を避けようとして側壁に衝突し、車内外に多数のけが人が発生したとの想定のもと、事業所と大津市消防局が連携し、初動対応から集団救急対応までの一連の流れを検証しました。

## ■訓練日時

2026年6月23日（火） 10時00分～11時00分

## ■訓練場所

近江鉄道株式会社 大津営業所（滋賀県大津市瀬田大江町 51-1）

## ■参加機関・人数

- ・近江鉄道株式会社 30名
- ・大津市消防局 30名



## ■訓練内容

県道を走行中の近江鉄道バスが道路へ飛び出した歩行者を避けようとして側壁に衝突し、車内外にけが人が多数発生したとの想定で訓練を実施しました。

—事故を想定した初動対応訓練（避難誘導・救命処置・情報伝達・初期消火）

—集団救急事故を想定した訓練（情報引き継ぎ・集団救急想定・車両一部破壊）



①バス車両前方のバッテリー付近から出火した想定で初期消火



②心肺蘇生法・AEDを用いた応急救護



③事故発生の一報を受け、事業所へ通報・情報伝達を行う



④バス車両後方の非常口を使用して乗客役を安全に避難誘導



⑤要救助者を救出するため車両の中扉の一部を破壊



⑥開放した扉から要救助者を救出



⑦消防による集団救急活動



⑧訓練終了後、大津市消防局からの全体講評

当社は今後も、関係機関と連携しながら訓練や研修を継続的に実施し、路線バスをご利用されるお客さまに、より一層「安全・安心」な公共交通サービスを提供できるよう取り組んでまいります。